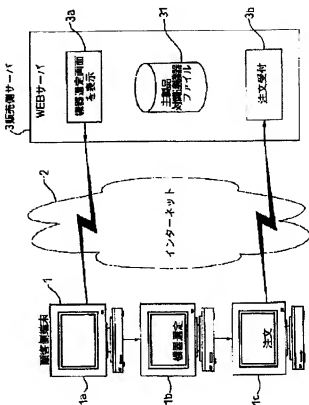


Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2002215929
PUBLICATION DATE : 02-08-02
APPLICATION DATE : 16-01-01
APPLICATION NUMBER : 2001008231

APPLICANT : YASKAWA ELECTRIC CORP;
INVENTOR : HAYASHIDA AYUMI;
INT.CL. : G06F 17/60
TITLE : PRODUCT SALES ASSISTING
SYSTEM BY NETWORK AND ITS
SERVER



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a product sales assisting system connecting customer side terminals and a sales side server via a network, facilitating the selection of products to be ordered, simplifying the ordering work, and reducing ordering mistakes.

SOLUTION: The customer side terminals 1 and the sales side server 3 are connected together via the network 2 in this product sales assisting system. The sales side server 3 transmits product information to the customer side terminals 1. When the sales side server 3 receives a main product selection signal selecting a main product among a plurality of main products displayed on the screens of the display devices of the customer side terminals 1, it transmits the product information of only the relevant products usable for the selected main product among the relevant products used in relation to the main products.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(C) WPI / Thomson

AN - 2002-613652 [66]

AP - JP20010008231 20010116

CPY - YASW

DC - T01

DW - 200266

IC - G06F17/60

IN - FUJIIISHI H; HAYASHIDA A

LNKA- 2002-486168

MC - T01-J05A

PA - (YASW) YASKAWA ELECTRIC CORP

PN - JP2002215929 A 20020802 DW200266

PR - JP20010008231 20010116

XIC - G06F-017/60; G06Q-010/00; G06Q-030/00; G06Q-050/00

AB - NOVELTY :

A marketing side server (3) transmits main product information to customer side terminal (1) through internet (2). When a specific main product is chosen among the displayed product menu in customer side terminal, selected product related information such as peripheral device information, exclusive option information, accessories information and their features, specification and contour, is transmitted from the server to customer side terminal.

- DETAILED DESCRIPTION :

An INDEPENDENT CLAIM is included for product sales support server.

- USE :

For online sales promotion of products such as motor, inverter, etc., through internet.

- ADVANTAGE :

Displays product related information on display screen of customer side terminal, at the time of ordering of product, hence choice of order is made easier, and order mistakes are avoided.

- DESCRIPTION OF DRAWINGS :

The figure shows an outline structure of online products sales promotion support system. (Drawing includes non-English language text).

1 : Customer side terminal

2 : Internet

3 : Marketing side server

ICAI- G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00

ICCI- G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00

INW - FUJIIISHI H; HAYASHIDA A

IW - PRODUCT SALE PROMOTE SUPPORT SYSTEM TRANSMIT INFORMATION RELATED

SELECT CUSTOMER SIDE TERMINAL MARKET SERVE THROUGH

IWW - PRODUCT SALE PROMOTE SUPPORT SYSTEM TRANSMIT INFORMATION RELATED

SELECT CUSTOMER SIDE TERMINAL MARKET SERVE THROUGH

NC - 1

NPN - 1

OPD - 2001-01-16

PAW - (YASW) YASKAWA ELECTRIC CORP

PD - 2002-08-02

TI - Online product sales promotion support system transmits information related to product selected by customer side terminal, from marketing side server through internet, only on product selection

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-215929

(P2002-215929A)

(43) 公開日 平成14年8月2日 (2002.8.2)

(51) Int.Cl. ⁷	識別符号	F I	キーワード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 0	C 0 6 P 17/60	3 1 0 E
	Z E C		Z E C
	3 1 8		3 1 8 C
	3 2 6		3 2 6
	3 3 4		3 3 4

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 32 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-8231(P2001-8231)

(22) 出願日 平成13年1月16日 (2001.1.16)

(71) 出願人 000006822

株式会社安川電機

福岡県北九州市八幡西区黒崎城石2番1号

(72) 発明者 藤石 弘希

福岡県北九州市八幡西区黒崎城石2番1号

株式会社安川電機内

(72) 発明者 林田 歩

福岡県北九州市八幡西区黒崎城石2番1号

株式会社安川電機内

(74) 代理人 100106647

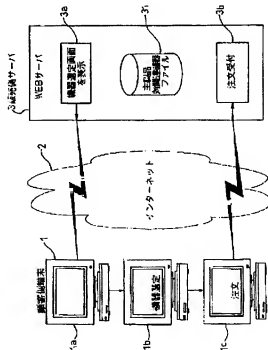
弁理士 小栗 昌平 (外4名)

(54) 【発明の名称】 ネットワークによる製品販売支援システム、およびそのサーバ

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムで、注文しよとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図るような製品販売支援システムを提供する。

【解決手段】 ネットワーク2を介して顧客側端末1と販売側サーバ3とが接続される製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバ3が、前記顧客側端末1へ製品情報を送信し、前記顧客側端末1の表示装置の画面に表示されている複数の主製品の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品に関連して用いられる関連製品のうち、選択された当該主製品に用いることのできる関連製品のみの製品情報を送信するようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の製品（以下、「主製品」という。）の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品に関連して用いられる関連製品のうち、選択された当該主製品に用いることのできる関連製品のみの製品情報を送信することを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項2】 前記関連製品情報は、周辺機器情報、専用オプション情報、およびアクセスリ情報、並びにこれらの特長、仕様、外形の1つ以上であることを特徴とする請求項1記載のネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項3】 ネットワークに接続される販売側サーバが主製品と該主製品にそれぞれ使用することのできる関連製品情報とを対応させたリストを記憶した主製品・関連製品ファイルを備えたことを特徴とする販売側サーバ。

【請求項4】 請求項3記載の販売側サーバにおいて、前記販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の主製品の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品・関連製品ファイルから主製品に対応する関連製品の製品情報を送信する機能を備えたことを特徴とする販売側サーバ。

【請求項5】 ネットワークに接続される販売側サーバにおいて、

該販売側サーバが、主製品と該主製品にそれぞれ使用することのできる自社および他社の関連製品情報とを対応させたリストを記憶した主製品・他社関連製品ファイルを備え、

該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の主製品の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品・他社関連製品ファイルから主製品に対応する関連製品の製品情報を送信する機能を備えたことを特徴とする販売側サーバ。

【請求項6】 自社の主製品およびこれに用いられる自社および他社の関連製品を在庫する関連製品在庫部と、

請求項4記載の販売側サーバを備えた一括配送処理部と、前記関連製品在庫部の製品を梱包する梱包部とから構成された関連製品 一括梱包方法において、

前記 一括配送処理部の販売側サーバが受信した製品注文情報に基づき一括配送処理リストを出力し、該一括配送処理リストにしたがって前記梱包部では該リストに記載の製品を前記関連製品在庫部から取り出して梱包するこ

とにより全注文製品の一括配送を可能とする関連製品一括梱包方法

【請求項7】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムであって、該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の製品主製品の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品に関連して用いられる関連製品のうち、選択された当該主製品に用いることのできる関連製品のみの製品情報を送信する製品販売支援システムにおいて、

前記関連製品であってネットを販売していないネット非販売製品についての情報が前記画面上に表示されることを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項8】 請求項7記載の製品販売支援システムにおいて、ネット非販売製品についての情報が、該ネット非販売製品の販売業者へのアクセス情報を含むことを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項9】 請求項7記載の販売側サーバにおいて、主製品・関連製品ファイルの関連製品にネット非販売製品、および該ネット非販売製品の販売業者へのアクセス情報を含めたことを特徴とする販売側サーバ。

【請求項10】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、前記顧客側端末から送られてきた製品注文信号を受信し、該製品注文信号の受信により注文内容および決済方法、届先の再確認を促す再確認画面情報を前記顧客側端末に送信し、前記顧客側端末から送られてきた再確認画面確認信号を受信し、該再確認画面確認信号の受信により注文受付処理を開始することを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項11】 請求項10記載の製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、注文受付処理を開始すると共に、注文受付内容を前記顧客側端末に送信し、顧客側端末の表示装置に表示させることを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項12】 請求項11記載の製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、前記注文受付内容を前記顧客側端末に送信する際に、顧客側端末の表示装置の表示画面の印刷保存を勧める文書を該顧客側端末に表示させる信号を送信することを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項13】 請求項10～12のいずれか1項記載の製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、注文受付処理を開始すると共に、注文受付内容を電子メールにて前記顧客側端末に送信する

ことを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項11】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、

該販売側サーバが、顧客名と該顧客が過去に製品を注文した注文内容とを対応させたリストを記憶した顧客・注文内容ファイルを備え、

顧客側端末からの要求により、該顧客・注文内容ファイルから顧客名に対応した注文内容を取り出し、送信し、顧客側端末の表示装置の表示画面に表示させ、顧客が当該注文内容表示画面を見ながら、注文したい製品の確認・変更を行えるようにしたことを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項15】 請求項14記載の製品販売支援システムにおいて、請求項10～13記載の製品販売支援システムを採用したことを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項16】 ネットワークに接続される販売側サーバ/顧客名と該顧客が過去に製品を注文した注文内容とを対応させたリストを記憶した顧客・注文内容ファイルを備え、

前記顧客側端末から送られてきた製品注文信号を該販売側サーバが受信してから該顧客・注文内容ファイルから注文内容を取り出し、送信し、顧客側端末の表示装置の表示画面に表示させ、かつ顧客が当該注文内容表示画面を見ながら、注文したい製品の確認・変更を行える機能を備えたことを特徴とする販売側サーバ

【請求項17】 ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、

前記販売側サーバが販売する複数の製品を主製品単位でモデルを構成し、該モデル内には前記主製品の利用の際に用いられる関連製品を扱うウェブのみで構成したことを特徴とするネットワークによる製品販売支援システム。

【請求項18】 ネットワークに接続される販売側サーバが主製品と該主製品の利用の際に用いられる関連製品情報のみを記憶した主製品・関連製品ファイルを備えたことを特徴とする販売側サーバ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムに関するもので、特に、販売側サーバへ製品を注文をする際の顧客側端末の表示装置の表示画面に製品価格を表示する製品情報表示等に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネット等のネットワークが急速に普及してきており、このインターネットを利用

したサービスが増加してきている。その1つに、インターネットを利用して製品の注文を行なうオンライン注文がある。このオンライン注文では、顧客が端末からインターネットを介して販売側サーバへアクセスし、販売側サーバから販売可能な製品の「一覧」が送られ、端末に表示される。そこで、顧客は多くの製品の「一覧」の中から1つの製品を適切に選択することにより注文を行っていた。ところが、このように販売可能な製品の「一覧」を見て注文をするために、顧客は製品を注文する前に、購入しようとする製品の仕様をあらかじめ調査して、製品名、形式等をピックアップした後、注文ページの製品「一覧」から該当製品を適切に選択することが必要であった。また、製品を注文した後、さらに、この製品に用いられる周辺機器も購入する場合、同様に、画面に表示された購入したい周辺機器の「一覧」の中から1つの周辺機器を適切に選択して注文する必要があった。このように、この専門分野に精通している顧客でなければ製品「一覧」だけでは仕様がわからず、したがって、その手の無い顧客にとってはあらかじめ製品名、形式等をピックアップする必要があったし、また、周辺機器をも選択する際にも同じことがいえ、選択を間違えると、注文した製品に適合しない周辺機器を選択するといった注文ミスが発生した。

【0003】 さらに、顧客側端末に表示される製品は販売者の販売可能な製品に限られており、販売者の販売しない関連製品は表示されないので、顧客はこれらに対しては別途同じ方法で、所望の関連製品を扱う他の販売者にアクセスして再度注文する必要があった。このような複数回に亘るオンライン注文は煩わしかった。また、このようにして注文するために、それぞれの販売者からの納品の配達日時もバラバラとなり、非効率的であった。また、複数の販売者の製品を一下に揃えて注文を受け付けているWebショップサイトでも、これらの製品の在庫・発送元が異なるために一括して納入されることはなされていなかった。

【0004】 さらに、従来の製品販売支援システムにおいて顧客側端末に表示される製品は当然のことながらネット販売している製品に限られており、ネット販売していない製品は取り扱われていない。したがって、このようなネット販売していない製品については顧客はこれらの製品を取り扱っている販売者を別の手段で探し出す苦労があるもので面倒であり、サイトの掲載製品のみでは魅力がなかった。また、顧客から送信された注文内容に入力ミスが多くあり、注文ミスを未然に防止する対策が必要であった。また、同じ製品を再注文するの、前回と同様な注文をするのは顧客にとって効率的でなかったし、注文ミスも発生した。そして、サイトの内容が純粋

的であったに、顧客にとって使い難いサイトとなっていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記の各課題を解決するもので、注文ページにて仕様を指定することにより、該当する周辺機器の 一覧が表示され、これを選択することにより、注文することができ、したがって、注文しようとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることにある。また、ネット販売ではあるが販売者の販売していない関連製品をも表示することによって注文しようとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化を図ることにある。さらに、ネット販売していない製品についてもその製品の情報をネット販売画面上に表示することにて、注文しようとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化を図ることにある。また、顧客に注文内容等を再確認させた後、正式注文として受け付けるようにして、注文ミスを未然に防止できるようにすることにある。また、注文履歴画面モードで再注文できるようにして、顧客にとって効率的となり、また、注文ミスを少なくすることにある。また、サイトを複雑でなくすることにより、注文ミスを少なくし、顧客にとって使い易いサイトとすることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記した目的を達成するため、請求項1記載の製品販売支援システムの発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の主製品のの中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品に関連して用いられる関連製品のうち、選択された当該主製品に用いることのできる関連製品のための製品情報を送信することを特徴とする。また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の製品販売支援システムにおいて、前記関連製品情報が、周辺機器情報、専用オプション情報、およびアクセス情報、並びにこれらの特長、仕様、外形の1つ以上であることを特徴とする。また、請求項3記載の販売側サーバの発明は、ネットワークに接続される販売側サーバが主製品と該主製品にそれぞれ使用することのできる関連製品情報とを対応させたリストを記憶した主製品・関連製品ファイルを備えたことを特徴とする。また、請求項4記載の販売側サーバの発明は、請求項3記載の販売側サーバにおいて、前記販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の主製品のの中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品・関連製品ファイルから主製品に対応する関連製品の製品情報を送信する機能を備えたことを特徴とする。

【0007】また、請求項5記載の販売側サーバの発明は、ネットワークに接続される販売側サーバにおいて、該販売側サーバが、主製品と該主製品にそれぞれ使用することのできる自社および他社の関連製品情報とを対応させたリストを記憶した主製品・他社関連製品ファイルを備え、該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の主製品のの中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品・他社関連製品ファイルから主製品に対応する関連製品の製品情報を送信する機能を備えたことを特徴とする。また、請求項6記載の関連製品一括梱包方法の発明は、自社の主製品およびこれに用いられる自社および他社の関連製品を在庫する関連製品在庫部と、請求項7記載の販売側サーバを備えた一括配送処理部と、前記関連製品在庫部の製品を梱包する梱包部とから構成された関連製品一括梱包方法において、前記一括配送処理部の販売側サーバが受信した製品注文情報に基づき一括配送処理リストを出力し、該一括配送処理リストにしたがって前記梱包部では該リストに記載の製品を前記関連製品在庫部から取り出して梱包することにより全注文製品の一括配送を可能とする。

【0008】また、請求項7記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムであって、該販売側サーバが、前記顧客側端末へ製品情報を送信し、前記顧客側端末の表示装置の画面上に表示されている複数の製品主製品の中から1つの主製品を選択する主製品選択信号を受信すると、前記主製品に関連して用いられる関連製品のうち、選択された当該主製品に用いることのできる関連製品のみの製品情報を送信する製品販売支援システムにおいて、前記関連製品であってネットを販売していないネット非販売製品についての情報は前記画面上に表示させることを特徴とする。また、請求項8記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、請求項7記載の製品販売支援システムにおいて、ネット非販売製品についての情報が、該ネット非販売製品の販売業者へのアクセス情報を含むことを特徴とする。また、請求項9記載の販売側サーバの発明は、請求項9記載の販売側サーバにおいて、主製品・関連製品ファイルの関連製品にネット非販売製品、および該ネット非販売製品の販売業者へのアクセス情報を含めたことを特徴とする。

【0009】また、請求項10記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、前記顧客側端末から送られてきた製品注文信号を受信し、該製品注文信号の受信により注文内容および決済方法・届先の再確認を促す再確認画面情報を前記顧客側端末に送信し、前

記顧客側端末から送られてきた再確認画面確認信号を受信し、該再確認画面確認信号の受信により注文受付処理を開始することと特徴とする。また、請求項1記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、請求項10記載の製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、注文受付処理を開始すると共に、注文受付内容を前記顧客側端末に送信し、顧客側端末の表示装置に表示させることを特徴とする。また、請求項12記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、請求項11記載の製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、前記注文受付内容を前記顧客側端末に送信する際に、顧客側端末の表示装置の表示画面の印刷保存を助める文言を該顧客側端末に表示させる信号を送信することと特徴とする。また、請求項13記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、請求項10～12のいずれか1項記載の製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、注文受付処理を開始すると共に、注文受付内容を電子メールにて前記顧客側端末に送信することと特徴とする。

【0010】また、請求項11記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、該販売側サーバが、顧客名と該顧客が過去に製品を注文した注文内容とを対応させたリストを記憶した顧客・注文内容ファイルを備え、顧客側端末からの要求により、該顧客・注文内容ファイルから顧客名に対応した注文内容を取り出し、送信し、顧客側端末の表示装置の表示画面に表示させ、顧客が当該注文内容表示画面を見ながら、注文したい製品の確認・変更を行えるようにしたことを特徴とする。また、請求項15記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、請求項14記載の製品販売支援システムにおいて、請求項10～13記載の製品販売支援システムを採用したことを特徴とする。また、請求項16記載の販売側サーバの発明は、ネットワークに接続される販売側サーバが顧客名と該顧客が過去に製品を注文した注文内容とを対応させたリストを記憶した顧客・注文内容ファイルを備え、前記顧客側端末から送られてきた製品注文信号を該販売側サーバが受信してから該顧客・注文内容ファイルから注文内容を取り出し、送信し、顧客側端末の表示装置の表示画面に表示させ、かつ顧客が当該注文内容表示画面を見ながら、注文したい製品の確認・変更を行える機能を備えたことを特徴とする。

【0011】また、請求項17記載のネットワークによる製品販売支援システムの発明は、ネットワークを介して顧客側端末と販売側サーバとが接続される製品販売支援システムにおいて、前記販売側サーバが販売する複数の製品を主製品単位でモジュールを構成し、該モジュールは前記主製品の利用の際に用いられる関連製品を扱うショップのみで構成したことを特徴とする。また、請求項1

8記載の販売側サーバの発明は、ネットワークに接続される販売側サーバが主製品と該主製品の利用の際に用いられる関連製品情報のみを記憶した主製品・関連製品ファイルを備えたことを特徴とする。上記の構成により、注文しようにする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることが可能となる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の第1の実施の形態を、図面を用いて説明する。図1は、本発明の全体システムの概略構成を示す図である。1が表示装置を備えた顧客側端末、2がインターネット、3が販売側サーバである。1a、1b、1cは顧客側端末1の行う処理内容を示し、また、3a、3bは顧客側端末1の行う処理内容を示している。図のように、インターネット2には、顧客側端末1が接続され、この顧客側端末1は同じくインターネット2に接続された販売側サーバ3へアクセスする。顧客側端末1は直接あるいはダイヤルアップ接続によりアクセスポイントを介してインターネット2に接続する機能を有し、WWWページ閲覧ソフトがインストールされていれば、どのようなものでよい。販売側サーバ3は、製品のメーカーや総販売元等が管理するWWWサーバであり、製品注文受付のためのWWWページを有する。また、販売側サーバ3は、主製品と、この主製品にそれぞれ使用することのできる周辺機器情報、専用オプション情報、およびアクセス情報（以下、「関連製品」という。）を記憶する主製品・関連製品ファイルを含むファイル装置31を含んでおり、随時ここにアクセス可能である。図では、ファイル装置31が販売側サーバ3内に描かれているが、インターネット2又は図示のない他のネットワークを介して接続されていてもよい。ファイル装置31には後述するような各種データが個々の主製品毎に記録されている。そこで、顧客は端末1をインターネット2に接続し、製品の注文送信用WWWページのURLを販売側サーバ3に対して送信する。販売側サーバ3は受信したURLに基づいて機器選定画面情報をサーバ内のメモリ（図示なし）から取り出し、顧客側端末3に送信する（ステップ3a）。顧客側端末1は機器選定画面情報を受信し（ステップ1a）、受信した機器選定画面情報に基づいて機器選定画面トップページを表示する。顧客は表示装置に表示された機器選定画面トップページを見て、メニュー順序にしたがって機器選定作業を行う（ステップ1b）。機器の選定毎に、その選定結果情報を販売側サーバ3に対して送信し、販売側サーバ3は受信した選定結果情報に基づいて主製品対関連製品ファイル31から次の表示のための適切な機器選定画面情報を取り出し、インターネット2を介して送信し、顧客側端末1の表示装置の表示画面に機器選定画面を表示し、顧客はこの機器選定画面を見て、次の機器選定を行う。以下、これを必要回数繰り返す。このようにして購入を必要とするすべての機種およ

び数量が決まったところで、注文情報を顧客側端末1から販売側サーバ3に対して送信する(ステップ1c)。
販売側サーバ3は注文情報を受信してこのフローを終了する(ステップ3b)。

【0013】図2は本発明の第1の実施の形態による機種選定を示す図であり、(a)はそのフローチャートであり、(b)はフローに対応する顧客側端末1の表示装置の表示画面に表示された表示例を示す説明図である。第1の実施の形態による機種選定の流れは次のようになる。まず、ステップ21で汎用インパータのシリーズを選択する。その場合の表示画面は21bのようになる。ここでは、例として、①VSmminiJ7シリーズの汎用インパータと、②VSmminiV7シリーズの汎用インパータとが表示される。そこで、ステップ21で、例えば、①のVSmminiJ7シリーズをマウスでクリックするとVSmminiJ7シリーズを選択したことになり、その選択結果番号がインターネットを介して販売側サーバ3に送られる。販売側サーバ3はこの選択結果番号を受けて、次に、表示画面に表示する表示情報をファイル装置31から取り出し、ステップ22およびステップ23で、電源電圧とモータ容量の表示をし、電源電圧とモータ容量の選択させる。その場合の画面は22bのようになる。すなわち、VSmminiJ7シリーズの汎用インパータをすでに選定しているので、電源電圧としては、②200V三相、③200V単相、④400V三相が表示される。これ以外の電源電圧のものにはVSmminiJ7シリーズの汎用インパータには適しないので表示していない。ここが従来の製品販売支援システムと異なる点である。従来はこの場合、各種の電源電圧および各種容量のモータが一覧表示されるので、熟知していないと選択ミスが生じた。22bの画面において、モータ容量(kW)の選択では、②0.0V三相、③0.0V単相、④400V三相のそれぞれに対して①0.1、②0.2、③0.4、④0.75、⑤1.5、が表示され、さらに、②0.0V三相と、③0.0V三相のそれぞれに対してはさらに、②2.2と、③3.7が表示される。このように、VSmminiJ7シリーズの汎用インパータに適するモータ容量(kW)のものしか表示していないので、顧客はこの表示内の機種を選択することによって選択ミスが防げる。

【0014】次に、ステップ24で、VSmminiJ7シリーズの汎用インパータに使用する必要関連機器の選択をする。その場合の画面は24bのようになる。すなわち、インバータ、周辺機器、専用オプション、アクセサリがリンク情報として表示される。そこで、インバータ、周辺機器、専用オプション、アクセサリのそれぞれをクリックして、購入しようとする関連機器を選択する。次に、ステップ25で、ステップ21で選択した各必要機器について、その機種を選択する。その場合の画面は26bのようになる。各製品についての形式・在庫

・価格が表示されているので、ステップ26でこれらを参考に数量を入力する。最後にステップ27で、全体を再度確認した後に、注文を行う。以上が、第1の実施の形態を含む製品注文処理フローの流れである。

【0015】図3・図4は、図2のフローを具体的に説明する図である。図3において、画面33は販売サイト「e-mechatronics.com」のトップ画面を示している。販売サイトの表示部分をクリックするとメインサイト34が現れる。メインサイト画面34はショップへの導入画面の例を表示している。メインサイト34には、それぞれ「バナー広告」、「検索」、「会員の方へ」、「サイトガイダンス」、「会員登録・変更」、「新着情報」、「ショップへの導入画面」、ショップを示す「インパータ」、「ロボット」、「サーボ」の各ボタンが表示される。各ボタンをクリックすることにより、それぞれの次ステップの表示がなされる。例えば、「バナー広告」をクリックすると、広告主のwebページに飛び、広告内容の詳しい情報が得られる。また、「検索」サイトでは、製品名、メーカー等のキーワードを入力すると、該当する製品一覧を抽出できる。「会員の方へ」をクリックすると図4の会員ログイン画面42が表示され、会員IDおよびパスワードを入力することにより、会員規約に基づく会員特典(キャッシュバック、ポイントカード、特別限定販売、バーゲン情報等)が受けられるようになって、ショップサイト41(後述)へ飛び、「サイトガイダンス」をクリックすると、サイトガイダンス画面35が表示され、①サイト運営方針、②会員登録・変更方法、③会員規約の各表示が表れるので、それぞれの必要に応じてその先の手続きをとる。「会員登録・変更」をクリックすると会員登録・変更画面37が表示され、④新規会員登録、⑤登録内容確認・変更、⑥登録取消選択、⑦パスワード再確認、⑧パスワード変更の各表示が表れるので、それぞれの必要に応じてその手続きをとる。「新着情報」をクリックすると、新着情報画面36が表示され、①サイトの新着情報、②過去の新着情報の展覧を表示する。「インパータ」をクリックすると、図4のショップサイト41が現れる。ショップサイト41には、メインサイトと同じく、「検索」、「会員の方へ」、「サイトガイダンス」、「会員登録・変更」の各ボタンの他に、インパータの写像が表示され、このサイト独自のボタンである、「インパータショップ」、「ショップガイダンス」、「お助け合わせ」、「知る・探す」、「買う」、「購入履歴」、「インパータ製品ラインナップ」、「周辺機器ラインナップ」、「アプリケーション事例」、「Q&A」、「注文時に便利な「形式による注文」、「キーワードによる注文」、それに代表的な汎用インパータシリーズに「VSmminiJ7」、「VSmminiV7」、「周辺機器」の各ボタンが表示される。

【0016】各ボタンをクリックすることにより、それ

ぞれの次のステップの表示がなされる。「インバータショップ」をクリックすると、インバータショップ画面が表示される。「ショップガイドランス」をクリックすると、ショップガイドランス画面13が表示され、①ショップの運営方針、②注文・支払い・配送のご案内、③営業日のご案内、④必要に応じてその先の手続きをとることができる。「お問い合わせ」をクリックすると、お問い合わせ窓口・メール画面58が表示される。そこには、①製品窓口、メールアドレス、②アフターサービス窓口である各地域のサービス店の電話番号、FAX番号が表示される。「知る・探す」をクリックすると、知る・探す画面11が表示され、①インバータ製品ラインナップ、②周辺機器ラインナップが現れる。そこで、①のインバータ製品ラインナップボタンをクリックすると、インバータ製品ラインナップ画面141が表示され、②の周辺機器ラインナップボタンをクリックすると、周辺機器ラインナップ画面142が表示される。インバータ製品ラインナップ画面141には、インバータ製品の写真、特長、容量が表示され、選択しやすくしてある。また、「製品仕様」、「製品外形」、「機能比較」の各リンク情報が表示され、それぞれをクリックすることにより、141aに示すように、各インバータについての製品仕様、製品外形、機能比較(基本、入力、出力、保護)についての情報が表示される。また、周辺機器ラインナップ画面142には、インバータ、保護、サージ、ノイズ、通信、制御、モニタ等で構成するツリー図が表示され、周辺機器の1つを選択すると42aに示すように、当該周辺機器に対応する製品特長、製品一覧、製品外形、接続図が表示される。インバータ製品ラインナップ画面141と周辺機器ラインナップ画面142とは相互にリンクして、選択されたインバータ製品に用いられる周辺機器のみが表示される。

【0017】注文の内容を確認したり、決済・配送方法の選択をしたいときは「注文内容確認と決済・配送方法選択」画面51でこれらを行うことができる。ここでは各ショップで購入希望(選択)したものを、括弧付き金額を表示し、注文内容の確認と決済・配送方法の選択を行う。また、ここでは注文書をフォーマットする。この画面54は「オンライン注文」画面541ヘリンクしてあり、「オンライン注文」画面541では前画面51で注文した内容を選択した決済・配送方法を再度表示して確認後、注文する。注文は画面下に表示の「注文」ボタンをクリックすればよい。ここをクリックすると「注文お札」画面511へ進む。ここでも再度、画面54で注文した内容を選択した決済・配送方法を表示して承諾せると共に、画面印刷と保存を奨励するメッセージを表示する。その後、注文確認メールを送信する。「買う」をクリックすると、キーワードによる注文でインバータを注文すると、インバータ選択画面52が表示さ

れ、モータ容量・電圧、デジタルオペレータ仕様、保護構造の順で順次表示されるので、その都度選択する。選択されたインバータの表示、数量入力が行われる。その後、この画面52から、この画面52で選択したインバータに対応する周辺機器の選択画面521へ進むことができる。この画面521では、周辺機器の「一覧表示」がなされるのではなくて、画面52で選択したインバータに対応する周辺機器の「一覧表示」がなされないで、この注文画面に表示された周辺機器を選択していれば、選択したインバータに適合する周辺機器を注文することができ、したがって、注文しようとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることができる。前画面52および前画面521から、前述の「ご注文内容確認と決済・配送方法選択」画面54ヘリンクしてあり、インバータを選択した画面52又は周辺機器を選択した画面521から各製品のオンライン注文が出来るようになる。

【0018】「購入履歴」をクリックすると、会員のこれまでの購入履歴の表示画面55が表示される。この画面55は前述の「ご注文内容確認と決済・配送方法選択」画面54ヘリンクしてあり、この画面55から製品の注文内容を確認後、オンライン注文が出来ようになる。これについては後述する(【0013】)。「形式による注文」をクリックすると、「形式リスト」画面53が表示される。ここでは、形式・容量・在庫・製品価格を表示しているの、顧客はこれを見ながら所望の製品の選択と数量を入力すればよい。したがって、顧客は製品を注文する前に、購入しようとする製品の仕様をあらかじめ調査して、製品名、形式等をピックアップした後、注文する、といった従来のような事前準備が不要となる。「キーワードによる注文」欄のところで「VSm i n i J7」又は「VSm i n i V7」をクリックすると、VSm i n i J7又はVSm i n i V7に対応した「インバータ」画面52(既述)ヘリンクする。「周辺機器」をクリックすると、「対応周辺機器」画面521(既述)ヘリンクする。「インバータ製品ラインナップ」又は「周辺機器ラインナップ」をクリックすると、それぞれ既述の画面141又は画面142ヘリンクする。

【0019】「アプリケーション事例」をクリックすると、画面51が現れ、①アプリケーション事例、②インバータ容量選定、③CADデータの各リンクが表示される。そこで、①のアプリケーション事例を選択すると画面511が現れ、②のインバータ容量選定を選択すると画面512が現れる。また、③のCADデータを選択すると、販売用サーバ選択されたCADデータを探して端末画面に表示するアプリケーション事例画面511では、各アプリケーションの特徴と効果、これに推奨されるインバータを表示し、その写真と機能比較を表示している。したがって、顧客はこの画面から所望のアプリケ

ーションおよび推奨されるインバータを選択できるので、顧客はアプリケーションを注文する前に、購入しようとするアプリケーションの仕様をあらかじめ調査するといった従来のような事前準備が不要となる。容量選定ツール画面512では、容量選定ツールの紹介、ツールのダウンロードサービスが行われる。「Q&A」をクリックすると、画面516が現れ、製品・技術・サービスに対してよく質問される質問集を掲示している。また、検索機能を設けて各種の質問に対応させている。「ショップ新着情報」をクリックすると、ショップ新着情報画面517が表示され、ショップ新着情報および過去の新着情報の履歴を表示する。

【0020】図6および図7は半製品としてインバータを例にした場合の各種種のインバータシリーズとそれに用いられる関連製品の1例を示した図である。図6はVSm ini i J7シリーズ、図7はVSm ini i V7シリーズである。図6において、VSm ini i J7はアイソレータ、直流リアクトル、通信関連製品、モータ関連周辺機器、盤内取付を含んでいる。電源（三相）とVSm ini i J7の間には、配線遮断機、電磁接触器閉閉時の異常電圧を吸収するサージアブソーバ内蔵の電磁接触器、進入サージ抑制や力率改善等の交流リアクトル、ラジオノイズフィルタとしての零相リアクトル、インバータから発生する伝導ノイズを抑制する入力側ノイズフィルタが設けられている。また、モータとVSm ini i J7の間には、インバータから発生する伝導ノイズを抑制する出力側ノイズフィルタと、ラジオノイズフィルタとしての零相リアクトルとが設けられている。

【0021】図7において、VSm ini i V7はVSm ini i J7と同じく、アイソレータ、直流リアクトル、通信関連製品、モータ関連周辺機器、盤内取付を含み、また、電源（三相）とVSm ini i V7の間には、配線遮断機、電磁接触器閉閉時の異常電圧を吸収するサージアブソーバ内蔵の電磁接触器、進入サージ抑制や力率改善等の交流リアクトル、ラジオノイズフィルタとしての零相リアクトル、インバータから発生する伝導ノイズを抑制する入力側ノイズフィルタが設けられている。また、モータとVSm ini i V7の間には、インバータから発生する伝導ノイズを抑制する出力側ノイズフィルタと、ラジオノイズフィルタとしての零相リアクトルとが設けられている。さらに、VSm ini i V7では用いられなかった制動抵抗器（直付又は別置き）とサーマルリレーが用いられている。

【0022】図8は、図6および図7の例で用いられなかった関連製品を含めたVSm ini i J7シリーズとVSm ini i V7シリーズに用いられる関連製品（周辺機器、専用オプション、アクセサリ）についての適応リストである。周辺機器としては、配線保護用の（1）配線用遮断器と（2）漏電ブレーカ、（3）焼損防止用の電磁接触器、力率改善用の（4）交流リアクトルと（5）

直流リアクトル、ノイズ低減用の、（6）入力側ノイズフィルタ（簡易型）と（7）出力側ノイズフィルタと（8）零相リアクトル、制動用の、（9）制動抵抗器ユニット（別置き）と（10）制動抵抗器（直付付）と（11）サーマルリレー、がある。専用オプションとしては、外部運転用の、（12）遠隔操作用デジタルオペレータと（13）遠隔操作用延長ケーブルと（14）遠隔操作用リモートI/Fユニットと（15）遠隔操作用ブランクカバー、（16）メモバス用のRS-422、485 I/Fユニット、ネットワーク用の、（17）S1N DeviceNet I/Fユニットと（18）S1P Profibus I/Fユニットと（19）S1R Interbus I/Fユニット、（20）オプションの不要なブランクカバー、盤内取付用の、（21）DINレールアタッチメントと（22）冷却フィン後出し用アタッチメント、がある。アクセサリとしては、周波数用の、（23）周波数計と（24）周波数設定抵抗器と（25）周波数計目盛調整抵抗器と（26）周波数設定器用つまみ、電流用の、（27）出力電流計と（28）電流設定抵抗器と（29）電流計目盛調整抵抗器と（30）電流設定器用つまみ、（31）電圧計、（32）サージ防止用のサージアブソーバ、（33）信号絶縁用のアイソレータ、がある。本発明ではこの適応リストを販売用サーバのファイル装置内に記録している。そして、インバータの機種が選択されると、ファイル装置内のこの適応リストにアクセスし、適応する関連製品情報を顧客の端末へ送信し、表示させるようにしている。

【0023】図9は、半製品としてのインバータが、図6および図7のシリーズとは異なる機種であるVar i speed F7シリーズとVar i speed G7シリーズを示しており、また、これに用いられる関連製品の1例を示した図である。図9において、このシリーズのインバータはアイソレータ、直流リアクトル、通信関連製品、モータ関連周辺機器を含んでいる。電源（三相）とインバータとの間には、配線遮断機、サージアブソーバ内蔵の電磁接触器、交流リアクトル、零相リアクトル、入力側ノイズフィルタ、制動抵抗器（直付又は別置き）とサーマルリレーが設けられている。また、モータとインバータとの間には、出力側ノイズフィルタと、零相リアクトルとが設けられている。

【0024】図10は、このインバータシリーズで用いられる関連製品を、図9の例で用いられなかった関連製品を含めて示した適応リストである。周辺機器としては、配線保護用の（1）配線用遮断器と（2）漏電ブレーカ、（3）焼損防止用の電磁接触器、力率改善用の（4）交流リアクトルと（5）直流リアクトル（18、5kw以下）、ノイズ低減用の、（6）入力側ノイズフィルタ（簡易型、18、5kw以下）と（7）入力側ノイズフィルタ（高性能、2.2kw以上）と（8）零相リ

アクトル、制動用の、(10)制動ユニット(22kW以上)と(11)制動抵抗器(直付け、3.7kW以下)と(12)制動抵抗器ユニット(別置き)、がある。専用オプションとしては、外部運転用の、(13)VSオペレータ(小型)と(14)VSオペレータ(標準)と(15)遠隔操作用延長ケーブルと、ネットワーク用の、(16)SI-N DeviceNet I/Fカードと(17)SI-P Profibus-DPI/Fカードと(18)SI-R Interbus I/Fカードと(19)SI-S CANOpen I/Fカードと(20)SI-U ControlNet I/Fカードと(21)SI-CC Link I/Fカードと、速度制御用の、(22)PG-A2と(23)PG-B2と(24)PG-D2と(25)PG-X2、出力用の、(26)AO-08アナログモニタカードと(27)AO-12アナログモニタカードと(28)DO-08デジタル出力カードと(29)DO-02C-2C接点出力カード、アクセサリとしては、周波数用の、(30)周波数計と(31)周波数設定抵抗器と(32)周波数計目盛調整抵抗器と(33)周波数設定器用つまみ、出力電流用の、(34)出力電流計と(35)電流設定抵抗器と(36)電流計目盛調整抵抗器と(37)電流設定器用つまみ、(38)出力電圧計、(39)サージ防止用のサージアブソーバ、(40)信号絶縁用のアイソレータ、がある。本発明ではこの適応リストと同じく販売側サーバのファイル装置内に記録している。そして、この機種インバータが選択されると、ファイル装置内のこの適応リストにアクセスし、適応する関連製品情報を顧客の端末へ送信し、表示させるようにしている。

【0025】図15のように、本発明ではインバータ対応機種種の適応リストファイルを販売側サーバのファイル装置内に記録し、インバータの機種が選択される度に、ファイル装置内のこの適応リストにアクセスし、適応する関連製品情報を顧客の端末へ送信し、表示させるようにしているので、顧客は画面に表示された周辺機器を選択すれば、選択したインバータに適合する周辺機器を注文することができ、したがって、注文しようとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることができる。

【0026】図11～図13は、図3～図5のイメージ図を具体化した顧客側端末の表示画面に表示される実際の表示例を示したものである。図11は図3の画面33の実際の表示例である。図11において、販売サイト「e-mechatronics.com」の表示の下に、販売できる製品ジャンルである、「robot」、「servo」、「inverter」が表示されており、該当表示部分をクリックすると、それぞれに対応した図12のショップサイトが現れるようになっている。

【0027】図12の表示例は図4の画面41を具体化

したものである。図12の表示画面には図1の画面11で説明した各種のクリックボタン(「検索」、「会員の方へ」、「サイトガイダンス」、「会員登録・変更」、「お問合せ」、「ショップガイダンス」、「新着情報」、「知る・探す」、「買う」、「購入履歴」、「インバータ製品ラインナップ」、「周辺機器ラインナップ」、「アフリケーション事例」、「Q&A」、「VSm mini J7」、「VSm mini V7」、「周辺機器」)の各ボタンが表示される。また、インバータの写真が表示される。

【0028】図13は図12の表示画面の「インバータ製品ラインナップ」ボタンをクリックしたときに現れる画面である。ここでは、各種インバータの「基本機能」、「入力機能」、「出力機能」、「保護機能」を比較するボタン、「周辺機器」に入るボタン、前面へ戻るボタンと並んで、各種インバータの写真と共に、その特長と容量を表示し、また、「仕様」や「外形」についてのボタンが準備されている。図13の「仕様」ボタンをクリックすると、インバータVSm mini J7の仕様画面が図15のように表示される。図13の「基本機能」ボタンをクリックすると、図17の基本機能比較リスト画面が表示される。図13の「外形」ボタンをクリックすると、図18のインバータVSm mini J7の外形画面がCADで表示される。図13の「周辺機器」ボタンをクリックすると、図14の画面が表示され、周辺機器についての情報を得ることができる。ここには、インバータ機種に応じて、図6、図7、図9に示した関連製品のリンク情報を表示している。そこで、例えば、図14の「制動抵抗」ボタンをクリックすると、図16の制動抵抗器・制動ユニット画面が表示され、制動抵抗器・制動ユニットについての情報を得ることができる。ここには、制動抵抗器・制動ユニットの特長、一覧、外形、接続図についてそれぞれ使用目的、形式一覧表、J1DEG表示・外形データ、J1DEG表示がなされている。また、制動抵抗器・制動ユニットが写真が表示されている。また、図14の「オプション」ボタンをクリックすると、図19のインバータVSm mini J7の仕様オプションラインナップ画面が表示される。そこには、専用オプションとして、図21(h)のような各種オプションのコンテンツが準備されているので、図19の遠隔制御、遠隔制御、盤内取付の各ボタンや専用オプションの一覧の1つの枠をクリックすると、それに応じて図21(a)の表示がなされる。図21(a)はメモバス通信制御の画面例を示している。また、図14の「アクセサリ」ボタンをクリックすると、図20のインバータVSm mini J7のアクセサリラインナップ画面が表示される。そこには、専用アクセサリとして、図22(b)のような各種アクセサリのコンテンツが準備されているので、図20の「盤面モニタ」、「アイソレータ」の各ボタンや専用アクセサリ一覧の枠をクリックすると、それ

に応じて図22(a)のような表示がなされる。図22(a)は周波数モニタの画面例を示すもので、周波数モニタの写真と、取付ベースの情報(取付方法、注意事項、製品外形、接続図)を表示している。このように、第1の実施の形態によれば、アクセサリにおいても、これまでに選んだ主製品、周辺機器に対応してそれが適用されるアクセサリのみが表示されるので、顧客は表示された中から決めることで、適切なアクセサリを選ぶことができる。

【0029】図12に戻って、「Q&A」ボタンをクリックすると、図24のように、インバートA/Q画面が表示される。図24では、インバートA/Q画面で、運転方法、機能、仕様、取付・配線、周辺機器、その他について、いずれかを選択すると、選択された事項について、インバートJ/F又はV7に関するよく知られる質問と解答が表示される。また、図12に戻って、「アプリケーション事例」ボタンをクリックすると、図23のように、インバートアプリケーション事例画面が表示される。図23では、インバートが適用される用途の種類が表示されている。ここでは、①昇降機、②台車、③ファン・送風機・ポンプ、④バルブコンベヤ、⑤ケーブルカー、⑥遠心分離機、⑦工作機(フライス盤・研削盤・ボール盤)、⑧エアコンプレッサ、⑨プレス、となっている。また、容量選定ボタンが表示されている。販売開サバウには、各インバート機種とそれの適用推奨される用途との対応リストをファイルとして持っており、インバートが選択された後、このアプリケーション画面になったとき、販売開サバウは選択されたインバート機種の用途分野を前記ファイルから探し出して、そのインバート機種が適用推奨される用途のみを顧客の端末1に表示する。したがって、顧客は画面に表示された製品を選択していくだけで、適切な機種を順々に選んでいくことができるので、本発明の第1の実施の形態によれば選択ミスが生じない。その1つの例昇降機をクリックすると、選択された機種のインバートを昇降機に適用するにあたっての事例や最適な推奨インバートが図25のように示される。他に8種類の用途についても、同じように適用事例画面が用意されている。また、図23の画面下の「容量選定」ボタンをクリックすると、図30のインバートの容量選定ツール画面が表示される。所望の用途をクリックすると、ツールのダウンロード画面が表示される。

【0030】再び、図12にもどって、「買う」ボタンをクリックすると、図27のオンライン注文画面が表示される。「オンライン注文」画面ではここまで選択した内容がまとめて表示される。画面の下に、「OK」、「変更」、「取消」の各ボタンが用意されており、「OK」をクリックすると、すぐに注文手続き処理に移るのではなく、図28のような注文確認画面が一旦表示される。顧客はこの注文確認画面で再確認した後、決済方法・届

先を手入力、「OK」をクリックすると、初めて手続き処理に移る。画面は図31の注文終了画面となる。銀行振り込み決済の場合、振り込み口座を表示すると顧客にとって便利である。また、図31の注文終了画面の下に、「注文お礼」画面を設けて、ここでも再度、図28で注文した内容を選択した決済・配送方法を表示して再確認を促すと共に、画面印刷と保存を奨励するメッセージを表示するとよい。このように、本発明では注文確認画面を挿入することにより、不注意で生じる注文ミスを予防することができる。

【0031】また、図27および図28の各画面の下に「変更」をクリックすると、図29のインバート選択画面へ移り、モータ容量、適用電圧、デジタルオペレータの有無、デジタルオペレータのボリュームの有無、保護構造、数量について変更があれば変更する。画面の下に、「OK」、「取消」の各ボタンが用意されており、そこで「OK」をクリックすると、図30の対応周辺機器選択画面に移る。図30の対応周辺機器選択画面では、購入するインバート機種、それに用いられる関連製品についてここまで選定した内容が表示される。画面の下に、「OK」、「取消」の各ボタンが用意されており、問題がなければ「OK」をクリックすると、図27のオンライン注文画面に戻る。図27・図28・図29・図30の各画面で、画面の下に「取消」の各ボタンが用意してある。ここでも選択してきた内容すべてをやり、新たに選択し直したいときは「取消」をクリックすればよい。そうすると、振り出しの図12へ移る。

【0032】以上のように、本発明の第1の実施の形態では、オンライン注文ページにて、汎用インバートの場合は使用するモータ容量を指定することにより、これに用いることのできる該当する関連製品(周辺機器、オプション、アクセサリ)の一覧が表示され、また関連する機器の写真や図形等の情報を併せて表示するので、これを見ながらメニューに従って検索・選択していくことにより、予知知識がなくても注文しようとする製品の選択が容易にでき、したがって注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることができる。また、主製品と関連製品とを一括して注文することとなるので、販売側にとって顧客への納入を一括して納入することが簡単に可能となる。以上、インバートの例で説明を通したが、本発明はこれに限定されるものではなく、ロボット、サーボモータ、OA機器、P/C、デジタル製品、音響機器、家電製品、日用品、食料品等のあらゆる製品に対して適用できる。また、インターネットを使った例で示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、公衆電話網、専用通信網、P/C通信網、イントラネット、エクストラネット等他の広域ネットワークにおいても用いられる。

【0033】次に、本発明の第2の実施の形態について、図32を用いて説明する。以上の第1の実施の形態は、販売開の有している主製品及び販売開の有している

関連製品の一括注文・納品であったが、実際は、主製品とその周辺機器は、一般に複数の製造元、手配元から構成されている場合が多い。したがって、顧客はこれらの製品を購入する場合、それぞれ複数の製造元、手配元に注文をする必要がある。そしてこの場合、複数箇所から配達日時もばらばらに納入されることになる。また、複数の製造元、手配元からなる製品を一丁に揃えているWEBショップサイトでも、これらの製品の在庫、発送元が異なるため、一括して納入されることは少ない。このように、顧客は複数の注文処理をし、バラバラに納品される複数の納品処理を行う必要があり、非効率的である。本発明の第2の実施の形態はこの問題を解決するもので、顧客が自社製品のみならず他社の製品をもWEB上による一括注文から一括納品までを可能とする関連製品一括購入方法を提供するものである。

【0034】図32は、本発明の第2の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図で、1が顧客側端末2がインターネット、3が販売側サーバである。31が販売側サーバ1に備えられたファイル装置で、ここには自社製品32である機器本体(主製品)と周辺機器の情報他に、他社製品32となる周辺機器の情報も格納している。そして、主製品の販売者は、これらのショップサイト製品32a、32bに対応する自社在庫品1aと他社在庫品1bを現在在庫として備えている。1a、1bは顧客側端末1の行方処理内容を示し、また、3a、3bは顧客側端末1の行方処理内容を示している。そこで、顧客が端末1をインターネット2に接続し、製品の注文支援用WWWページのURLを販売側サーバ3に対して送信する。販売側サーバ3は受信したURLに基づいてショップサイト31の自社製品情報および他社製品情報の情報をサーバ内のメモリ(図示なし)から取り出し、顧客側端末3に送信する(3a)。顧客側端末1は自社製品情報および他社製品情報を受信し(ステップ1a)、受信した自社製品情報および他社製品情報を表示する。顧客は表示装置に表示された画面メニュー方式で順順に自社および他社製品を含めて機器選定作業を行なっていく。顧客側端末1は機器の選定毎に、その選定結果情報を販売側サーバ3に送信し、販売側サーバ3は受信した選定結果情報に基づいて自社および他社製品を含む主製品対周辺機器・専用オプション・アクセサリーファイルから次の表示のための機器選定画面情報を取り出し、送信する。顧客側端末1は受信した機器選定画面情報に基づいて機器選定画面を表示し、顧客は表示装置に表示された機器選定画面によって、次の機器選定を行う。以下、これを必要回数繰り返す。購入を必要とするすべての機種および数量が決まったところで、選定してきた主製品および関連製品を顧客側端末1から販売側サーバ3に対して一括して送信し、販売側サーバ3はこの一括注文を受信し、配送の手配を出力する(3b)。このあと、ステップ33で作成された配送手配に従って、作業

者は在庫の自社製品1aと他社製品1bの中から注文された製品をそれぞれ取り出すだけで、一括梱包すべき製品が揃い、一括発送・一括納入が可能となる。代金の支払いは、納入業者による納入時に製品を引き換えに納入業者に支払っても良いし、オンライン注文時に銀行振り込み等の案内をしてそれにしたがって前もって銀行振り込みをしてもいい、それを確認してから納入してもよい、あるいは、クレジットカードによるオンライン決済をしてもよい。

【0035】以上、本発明の第2の実施の形態によれば、ショップサイト31に自社製品32aの他に、これまで行われなかった同業他社の製品32bを在庫として確保しておき、これらの製品をもショップサイトに掲載することにより、注文を一括して受けることができる。そして、販売側サーバが出力する配送手配にしたがって、製品を在庫から収集するだけで、顧客の注文した製品を一括して配送・納品することを実現し、顧客の注文処理、納品処理が一度で済むとともに、注文品が揃うことを確認する手間が不要となるため、効率的である。また、従来でも、WEBショップサイトで、複数の販売者の製品を、一手に注文を受け付けているものもあったが、これらの製品の在庫・発送元がそれぞれ異なるために一括して納入されることは行われなかったし、また一括して納入しようという工夫もなされていなかった。このように、第2の実施の形態によって、全注文製品の一括納入が可能となる。

【0036】図33は本発明の第3の実施の形態を示すものである。以上の第1および第2の実施の形態で扱った製品は、すべてネット販売している品であった。ネット販売製品は、例えば、廉価な製品、小物・小口・光り切り製品、エンジンアクリル・コンソラントの不要な製品などである。ネット販売していない製品は、例えば、候補の選定が複雑な製品や、高価な製品。購入時に店員に質問・相談するエンジンアクリル・コンソラントが必要な製品等、についてはネット販売されず、顧客にとって機器選択の範囲が狭められている。また、ネット販売者間もこれらの製品をネット販売を行うと販社の中抜きとなってしまう。販売網に混乱が生じるので、ネット販売を断念していた。したがって、ネット販売していない製品が多いサイトの場合、サイトの魅力がなく、集客力に欠け、また、新たなネットを使った新チャンネルの創造を断念せざるを得なかった。第3の実施の形態はこれらの問題を一挙に解決するもので、販社問題を抱えるメーカーにとって、直販と販社紹介の両方が実現できて問題の解決策となり、顧客にとっても選択範囲が広がるようサイトの掲載製品を多くして使い易くし、魅力を増して集客力をアップするものである。

【0037】次に、本発明の第3の実施の形態について、図33および図34を用いて説明する。図33は、本発明の第3の実施の形態による全体システムの概略構

成を示す図で、1が顧客側端末、2がインターネット、3が販売側サーバである。また、販売側サーバ3は、随時ここにアクセス可能なファイル装置31を含んでおり、このファイル装置31には、上述したファイルの他に、主製品と、この主製品にそれぞれ使用することのできる関連製品（周辺機器情報および専用オプション情報）と、これらについてのネット販売可能情報およびネット販売情報ファイルと、かつ、ネット非販売製品を扱う業者（販売部門）对该業者の電話番号・FAX番号・E-mailアドレス等の通信手段アクセス情報ファイルとを記憶している。そして、同一製品シリーズの中で、ネット販売してない製品も、ネット販売製品と同時に掲載し、① ネット販売製品はそのまま注文を受け、② ネット販売しない製品は販社紹介を行うものである。1a~1cは顧客側端末1の行う処理内容を示し、また、3a~3cは顧客側端末1の行う処理内容を示している。そこで、顧客がインターネット2を介して販売側サーバ3へ製品情報を要求すると、販売側サーバ3は要求に応じた製品情報をデータ装置31から取り出し、顧客側端末1に送ってくる（ステップ1a）。顧客は表示装置に表示された画面からメニュー方式で順順に主製品および関連製品の製品選定作業を行っていく。これを必要回数繰り返して、購入するすべての機種および数量が決まったところで、選定した主製品および関連製品を販売側サーバ3に一括して送信し注文する（ステップ1b）。販売側サーバ3はこの一括注文を受信し、配送の手配を行う（ステップ3b）。以上が既に述べたネット販売製品についての注文である。

【0038】ところで、本発明の第3の実施の形態によれば、以上の手続きにおいて、オンライン注文していない製品が主製品対関連機器ファイルから取り出されたときは、販売側サーバ3は顧客側端末1へネット販売しない製品を扱う販社の紹介を行うようにするものである。具体的には、通信手段アクセス情報ファイルから、このオンライン注文していない製品を扱う業者の電話番号・FAX番号・E-mailアドレスを取り出し、このうちの1つ以上を前記オンライン注文画面上に表示させている。図34はこの1例を示している。同図において、VSm i n i J アインバークのうち、容量0.4kWhインバーク（C I M R 7 A A 2 0 P 4 0）以外はネット販売製品であるので、ネット販売の処理を行い、インバーク（C I M R 7 A A 2 0 P 4 0）だけ購買不可能であるので、この場合、対応枠内にこのインバークを扱う部門（業者）の電話番号を表示させ、顧客が電話帳をしらべなくてもすぐに業者へアクセスできるようにしている。このようにすることにより、販社問題を抱えるメーカーにとって、直販と販社紹介の両方が実現でき、問題の解決策となる。また、顧客にとっても選択範囲が広がるので、サイトの掲載製品に魅力が増し、集客力がアップする。

【0039】次に、本発明の第4の実施の形態について、図35~図40を用いて説明する。第4の実施の形態は、第1~第3の実施の形態の目的と同じく、注文ミスを減らすためのもので、そのためにWFDによる注文確認の徹底を図るようにしている。図35は本発明の第4の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図である。同図において、1が顧客側端末、2がインターネット、3が販売側サーバである。そこで、顧客がインターネット2を介して販売側サーバ3から製品情報を受信し、表示された画面からメニュー方式で順順に主製品および関連製品の製品選定作業を行っていく。製品の選定毎に、その選定結果情報を販売側サーバ3に送信し、販売側サーバ3は受信した選定結果情報に基づいて、主製品対関連製品ファイルから次の表示のための画面情報を取り出し、送信する。以下、これを必要回数繰り返して、最終的にすべての機種および数量が選定されたところで、ここまで選定してきた主製品および関連製品を顧客側端末1から販売側サーバ3に対して一括して注文する（ステップ1a）。第4の実施の形態によれば、販売側サーバ3はこの注文を受信しても正式注文受付とせず、注文内容確認処理（ステップ3a、①）を行うのが特徴である。注文内容確認処理では、販売側サーバ3が受信した注文内容を顧客に確認させるために、販売側サーバ3が受信した注文内容を顧客側端末1へ送信する処理を行う。これにより、顧客は販売側サーバ3から送られてきた注文内容を表示装置の表示画面で確認および修正をして、再度販売側サーバ3に注文内容を送信する（ステップ1a）。販売側サーバ3はこれを受信して、初めて正式注文として受け付けるようにしている（ステップ3a、②）。

【0040】図36は図35の顧客側端末1の処理ステップ1a~3a、1b~3b間の各フローを詳細に示す注文確認フローで、図35の処理ステップ1a~3aが図36のステップ361~363に、処理ステップ1b~3bがステップ364、365にそれぞれ対応している。これは図5のイメージフローの53に対応している。図36において、ステップ361は、インターネット2を介して販売側サーバ3から顧客側端末1に送られてきた表示画面を見ながら顧客は注文する商品に注文数量を入力することにより注文するステップである。このときの表示画面は、注文画面モードであり、1例として、製品名・形式・在庫の有無・価格・数量が表示され、数量ボックスに注文する数量を入力するようにしている。図37は注文画面モードの具体的な表示例を示している。図37の注文画面は、注文するインバークとして、VSm i n i J シリーズを選んだ時の表示例で、電源電圧としては、0.200V三相、0.400V三相が表示され、その容量（kWh）、形式、在庫、価格、注文数量が横方向に並んでいる。このように画面で、注文したいインバーク欄に位置する数量ボックスをマウスでクリック

くすることにより、注文が選択される。図2はインバートCIMER J7FAA23P70が選択された例が示されている。このようにして、選択が終わったら、画面下に表示されているOKボタン(図27)をクリックして注文確認ステップへ進む。図36のステップ362は、注文確認ステップで、図5のイメージフローの54に対応する、このときの表示画面は注文確認モードであり、図38がこの注文確認モードの具体的な表示例を示している。画面の上部が表示した製品画面の下部が決済方法の選択画面である。顧客は、注文内容を確認したあと(36200)、決済方法、届け先を入力する(36200)。すべてが終わったら、画面下に表示されているOKボタン(図28)をクリックして注文確定する。これにより、注文内容、決済方法と届け先(以後、「注文内容等」という。)が顧客側端末1から販売側サーバ3に送られる。一方、販売側サーバ3はこの注文を受信して正式注文受付とせずに、顧客側端末1に例えば図39のような注文リスト表示をする(ステップ363)。このステップ363は、顧客に注文内容等の再確認(本発明による第1回目の確認)を行わせると共に注文内容等を電子履歴として顧客側端末1のファイルに記録させるものである。

【0041】図39は注文リストモードの具体的な表示例を示している。当然のことながら、図39の注文内容等は図38のそれと同一である。この確認作業中に修正したい箇所が見つかったときは、画面下に表示されている変更ボタン(図28)をクリックすると、元のインバート選択画面(図29)が現れ、また、このインバート選択画面下のOKボタン(図29)のクリックで次の対応周辺機器選択画面(図30)が現れるのである。このようにして所望の画面を出して注文内容等を修正する。そして、最終的に再び図38の画面になるので、ここでOKボタン(図5の画面511の「注文」ボタンに相当)をクリックすると、販売側サーバ3は初めて正式受注とし注文を受け付ける。また、顧客側端末1は、この注文内容等を電子履歴として、顧客の選択により又は自動的に、ファイルに記録するようになると、取引実績の明確な証拠とすることができる。このように、従来のWEBによる注文の場合、その注文内容の再確認は行われなかったために、入力ミス等のケアミスによる注文ミスがよくおきたが、第4の実施の形態により正式注文受付の前に再確認ステップを設けたので、これによって注文ミスの多くが無効に防止できることとなる。

【0042】さらに、第4の実施の形態によれば、販売側サーバ3は正式注文受付後、ステップ364で、注文内容等を顧客側端末1に戻し、顧客に注文内容等の再確認(第2回目の確認)を行わせ注文完了モードを備えている。図40は注文完了モードの具体例を示している。この画面では、注文内容を表示すると共に、注文書・注文請書に相当する本画面の印刷を奨励するメッセ

ジを表示している。このステップで本画面内容を電子履歴として残してもよい。第4の実施の形態では、さらに、販売側サーバ3は正式注文内容等をメールにて顧客側端末1に送信し(ステップ366)、顧客は送信されたメールの注文内容等を見て、注文の再確認(第3回目の確認)を行うようにしている(ステップ365)。このように、第3回目までの確認ステップを設けたので、これによって注文ミスのほとんどが無効に防止できることとなる。

【0043】次に、本発明の第5の実施の形態について、図41〜図44を用いて説明する。これまでの統計から見て、顧客は製品の再注文のとき前回と同じ種類の製品を選択することが多いことが判明している。ところが、従来のWEBによる再注文の場合、その注文内容が以前の注文内容と同様であっても、顧客は前回と同様に、再度同様な注文入力力をすることが必要であった。このことは顧客にとって効率的でないし、また、注文ミスが発生する可能性もある。そこで、第5の実施の形態は、第1〜第4の実施の形態と同じく、顧客にとって効率的な製品注文ができて、注文ミスが発生しない製品販売支援システムを提供することにある。図41は、本発明の第5の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図で、1が顧客側端末、2がインターネット、3が販売側サーバである。また、販売側サーバ3は、上述したファイル装置31のファイルの他に、顧客名と該顧客が過去に製品を注文した注文内容等のリストを記憶した顧客注文履歴ファイル311を備えている。同図において、1f〜1bは顧客側端末1の行う処理内容を示し、また、3f〜3bは顧客側端末1の行う処理内容を示している。そして、この処理内容1f〜3fが第5の実施の形態により設けられたものである。図41の処理ステップ1fは図42のステップ401に対応し、ステップ401は図36の注文確認フローの最初のステップ361の代替ステップである。したがって、図42のステップ362からは図36のステップ362と同じであり、これ以降のステップの指示説明は省略する。顧客注文履歴ファイル311を用いて製品を購入するには、顧客が「購入履歴」ボタン(図41)をクリックすればよい。または、図42(a)のようなフローで顧客に問合わせるようにしてもよい。図42は図41の顧客側端末1の処理ステップ1fを説明する再注文フローである。図42(a)において、注文フローがスタートすると、まず、販売側サーバ3が顧客側端末1に対して、「過去の注文履歴を使用するかどうかのメッセージを送る。これにより、端末操作に不慣れた顧客にも使い易くなる。顧客がNを選択すると、通常の注文フローである図36へ進み、Y、顧客がYESを選択すると(図41、ステップ1f)、再注文フローである図42(b)へ進む。図42(b)のステップ401において、販売側サーバ3が顧客注文履歴ファイル311から当該顧客の過

去の注文履歴を取りだし、顧客側端末1に表示する(図4-1、ステップ31)。このときの表示画面は注文履歴画面モードであり、例として、過去の注文の注文時期、注文番号、注文金額が表示される。図13はこの具体的な表示例をしめすものである。図4-3の注文履歴画面モードにおいて、過去3件の注文が時系列で表示されている。ここでは注文番号をクリックすると、図13のように過去に注文した内容の注文確認画面が表示される。図4-4では図4-3の注文履歴画面モードの1番目の注文番号876543を選択した例が示されている。顧客はこれを見て、注文内容、決済方法、届先の追認・追記・変更等を行えばよいので簡単である。数量に変更がある場合は、画面下に表示されている変更ボタン(図28)をクリックすると注文画面(図27)に戻り、数量を変更することができる。以上のように、第5の実施の形態によれば、注文履歴画面モードで再注文できるので、前回と同様な注文またはこれと僅かな修正の場合、顧客にとって効率的でない。また、注文ミスが発生することも少なくなる。

【0044】次に、本発明の第6の実施の形態について、図45および図46を用いて説明する。第6の実施の形態は事業・製品単位のショップ構成に関するものであり、使い易くして、注文ミスを無くするものである。図45は複数の企業あるいは製品種類をあつかう従来のサイト構成を説明する図である。図45(a)において、1つのモールの中に、親会社(本線で図示)として甲企業ショップ、乙企業ショップ、丙企業ショップがあり、どの企業ショップも製品Aを販売している。また、甲企業ショップは製品Bも販売している。このモールの中には、他に、各関連会社ショップ(細線で図示)が製品Aに関連する製品a1や、製品Bに関連する製品b1、製品Cに関連する製品c1を販売している。さらに、パートナー企業ショップ(点線で図示)が製品a1に関連する製品a11や、製品Bに関連する製品b11を販売している。または、図1(b)のように、メカトロショップとかサーバモータショップ、17ポットショップ、O.A機器ショップといった製品種類別にカテゴリを付けたポータルサイトとなっていた。また、複数の企業あるいは製品種類を扱うサイトは、第三者的な立場で参加企業を募っている。そこで、このような1企業内に種類の違う製品がある場合、ショップのなかでさらにショップ構成をとる必要がありサイト構成が複雑になったし、第三者的な立場の場合、掲載コンテンツは総花的になり掲載製品の焦点がぼけに傾く。また、参加企業も躊躇しやすかった。第6の実施の形態はこれらの課題を解決するもので、総花的にならない使い易くしたショップ構成、したがって注文ミスを無くするショップ構成を提供することにある。

【0045】図46は、本発明の第6の実施の形態によるサイトの概略構成を示す図で、図46(a)はメイン

サイトとサブサイトとの関係を示す図であり、図46

(b)は1サブサイト内における各販売会社と販売製品の関係を示す図である。図46(a)において、1つのメインサイトは、それぞれサブサイトとしてのショップA、ショップB、ショップC、・・・から構成されている。図46(b)において、1つのサブサイトとしてのショップAでは、主製品(親会社製品)Aについてのみ扱い、製品B、製品Cは扱わないで別のサブショップB、Cで扱うこととしている。そして、ショップAでは、主製品Aに関連する関係関連会社製品のうち、製品a1、a2、a3、・・・についてのみ扱い、主製品B、Cに関連する製品b1、b2、b3、・・・、c1、c2、c3、・・・についてはここでは扱わない。さらに、ソリューション提供のためのパートナー企業製品のうち主製品a1、a2、a3、・・・に関連する製品a11、a12、a13、・・・、a21、a22、a23、・・・、a31、a32、a33、・・・についてののみ関係関連会社製品を扱い、製品b1、b2、b3、・・・、c1、c2、c3、・・・に関連する製品b11、b12、b13、・・・、b21、b22、b23、・・・、b31、b32、b33、・・・、c11、c12、c13、・・・、・・・についてはここでは扱わない。このように、第6の実施の形態によれば、販売する複数の製品を主製品単位でモールを構成し、該モール内には前記主製品の利用の際に用いられる関連製品を扱うショップのみで構成したので、サイトが複雑にならず、顧客にとって使い易いサイトとなる。グループ企業・パートナー企業でモールを構成することにより、掲載製品が集約され、また、各企業とも参加し易い。系列の利点が生まれることとなる。

【0046】

【発明の効果】以上のように本発明の第1の実施の形態によれば、注文ページにて、仕様(例えば汎用インバータの場合は使用するモータ容量)を指定することにより、該当する周辺機器の一覧が表示され、これを選択することにより、注文することができ、したがって、注文しやすとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化、注文ミスの低減を図ることにある。また、第2の実施の形態によれば、他社の販売している関連製品をも表示することによって注文しやすとする製品の選択を容易にし、注文作業の簡略化を図ることにある。第3の実施の形態によれば、ネット販売に際しては製品についてこの製品を扱う販売業者の電話番号等を表示させ、販売業者へのアクセスをし易くすることによって、販社問題を抱えるメカにとって直販と販社紹介の両方が実現でき、問題の解決策となり、また、顧客にとっても選択範囲が広がるので、サイトの掲載製品に魅力が増し、集客力がアップする。第4の実施の形態では、販売側サーバは顧客から最初に送信された注文内容を正式注文とせず、顧客に注文内容等を再確認させた後、正式注文として受け付けるので、注文ミスのほとんどが未然に防止で

きることとなる。第5の実施の形態によれば、注文履歴画面モードで再注文できるので、前回と同様な注文またはこれと僅かな修正の場合、顧客にとって効率的でないし、また、注文ミスが発生することも少なくなる。第6の実施の形態によれば、販売する複数の製品を主製品単位でモールを構成し、該モール内には前記主製品の利用の際に用いられる関連製品を扱うショップのみで構成したので、サイトが複雑でないで注文ミスが少なくなり、顧客にとって使い易いサイトとなる。グループ企業・パートナー企業でモールを構成することにより、掲載製品が集約され、また、各企業とも参加し易い、系列の利点が生かされることとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体システムの概略構成を示す図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態による機種選定を示す図であり、(a)はそのフローチャートであり、(b)はフローに対応する画面の表示例を示す説明図である。

【図3】図2のフローを含む注文受付の全体を具体的に説明するイメージ図の前段部分である。

【図4】図3の前段部分に続く中段部分である。

【図5】図4の中段部分に続く後段部分である。

【図6】主製品としてインバータを例にした場合のVSm mini J7シリーズとそれに用いられる関連製品の1例を示した図である。

【図7】主製品としてインバータを例にした場合のVSm mini V7シリーズとそれに用いられる関連製品の1例を示した図である。

【図8】図6および図7のインバータとこれらに用いられる関連製品(周辺機器、専用オプション、アクセサリ)についての適応リストである。

【図9】図6および図7のインバータとは異なる機種であるVarispeed F7シリーズとVarispeed G7シリーズと、これに用いられる関連製品の1例を示した図である。

【図10】図9のインバータシリーズで用いられる関連製品を、図9の例で用いられなかった関連製品を含めて示した適応リストである。

【図11】図3の画面33の実際の表示例である。

【図12】図4の画面41を具体化したものである。

【図13】図12の表示画面の「インバータ製品ラインナップ」ボタンをクリックしたときに表示される画面である。

【図14】図13の「周辺機器」ボタンをクリックしたときに表示される周辺機器についての画面である。

【図15】図13の「仕様」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータVSm mini J7の仕様画面である。

【図16】図14のボタンをクリックしたときに表示される制動抵抗器、制動ユニット画面である。

【図17】図13の「基本機能」ボタンをクリックしたときに表示される基本機能比較リスト画面である。

【図18】図13の「外形」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータVSm mini J7の外形画面である。

【図19】図14の「オプション」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータVSm mini J7の専用オプションラインナップ画面である。

【図20】図14の「アクセサリ」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータVSm mini J7のアクセサリラインナップ画面である。

【図21】図19の「メモバス」ボタンをクリックしたときに表示されるメモバス通信制御画面である。

【図22】図20の「周波数計」ボタンをクリックしたときに表示される周波数モニタの画面例である。

【図23】図12の「アプリケーション事例」ボタンをクリックしたときに表示されるアプリケーション事例画面である。

【図24】図12の「Q&A」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータFAQ画面である。

【図25】図23のインバータアプリケーション事例画面の1つの「昇降機」ボタンをクリックしたときに表示される昇降機事例画面である。

【図26】図23のインバータアプリケーション事例画面下の「容量選定」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータ容量選定ツール画面である。

【図27】図12の「買う」ボタンをクリックしたときに表示されるオンライン注文画面である。

【図28】図27のオンライン注文画面下の「OK」ボタンをクリックしたときに表示される注文確認画面である。

【図29】図27および図28の各画面下の「変更」ボタンをクリックしたときに表示されるインバータ選択画面である。

【図30】図29のインバータ選択画面下の「OK」ボタンをクリックしたときに表示される対応周辺機器選択画面である。

【図31】図28の注文確認画面下の「OK」ボタンをクリックしたときに表示される注文終了画面である。

【図32】本発明の第2の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図である。

【図33】本発明の第3の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図である。

【図34】本発明の第3の実施の形態による顧客側端末の表示装置の表示画面の表示例である。

【図35】本発明の第4の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図である。

【図36】図35の顧客側端末1の地理ステップ1a、3a、1b、3b間の各フローを詳細に示す注文確認フローである。

【図37】注文画面モードの具体的な表示例を示している。

【図38】注文確認モードの具体的表示例を示している。

【図39】注文リストの具体的表示例を示している。

【図40】注文完了モードの具体的表示例を示している。

【図41】本発明の第5の実施の形態による全体システムの概略構成を示す図である。

【図42】図41の顧客側端末1の処理ステップ1を説明する再注文フローである。

【図43】注文履歴画面モードの具体的表示例を示している。

【図44】注文履歴画面モードで開かれた注文確認画面の具体的表示例を示している。

【図45】複数の企業あるいは製品種類をあつかう従来のサイト構成を説明する図である。

【図46】本発明の第6の実施の形態によるサイトの概

略構成を示す図である。

【符号の説明】

1 顧客側端末

1a、1b、1c 顧客側端末1の行う処理内容

2 インターネット

3 販売側サーバ

3a、3b 顧客側端末3の行う処理内容

31 主製品対周辺機器・専用オプション・アクセスリファイル

32 ショップサイト製品

32a 自社ショップサイト製品

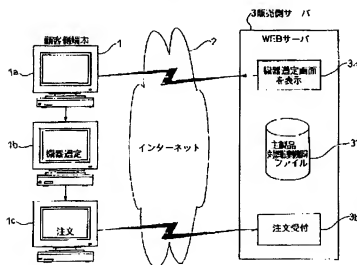
32b 他社ショップサイト製品

4 在庫品

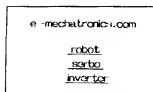
4a 自社在庫品

4b 他社在庫品

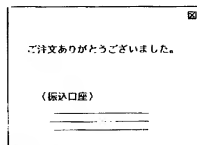
【図1】



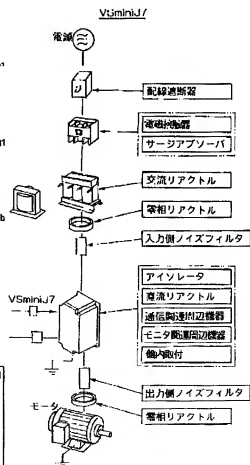
【図11】



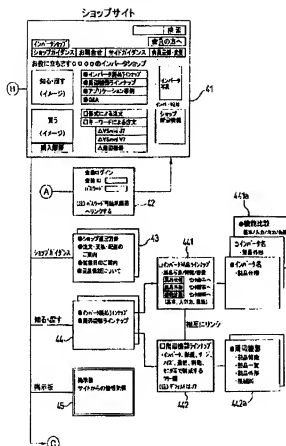
【図31】



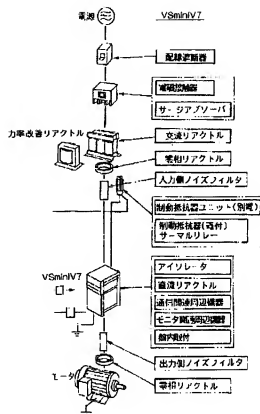
【図6】



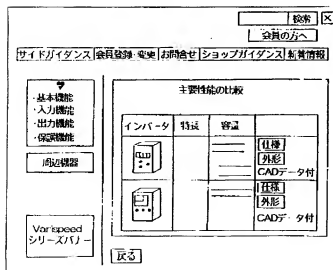
【図4】



【図7】



【図13】



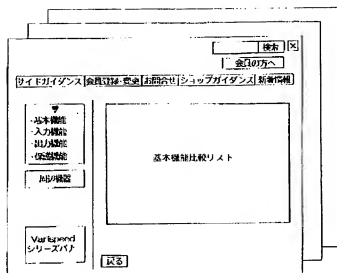
【図15】

		検索	X
		会員の方へ	
ライドガイドランス 会員登録 変更 お問合せ ショップガイドランス 新着情報			
VSmini J7仕様			
♥ 基本機能 ・入力機能 ・出力機能 ・保存機能 周辺機器		(ウインドウポップアップ)	
Varispeed シリーズバナー			
		戻る	

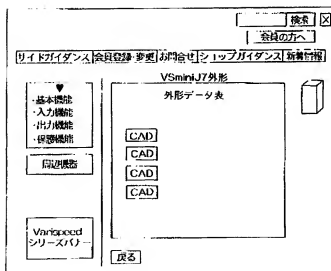
【図16】

		検索	X
		会員の方へ	
ライドガイドランス 会員登録 変更 お問合せ ショップガイドランス 新着情報			
制動風抵抗・電動ユニット			
VSmini J7	製品特長	何卒目的に使うのか	写真
VSmini V7	製品 図	形式一覧表	
Varispeed シリーズバナー	製品外形	JPEG表示	外形データ表
	接続図	JPEG表示	
	戻る		

【図17】



【図18】



【図19】

検索 ☒

ホーム インバークショップ 会員の方へ

リイドガイダンス 会員登録・変更 お問合せ ショップガイダンス 新着情報

VarispeedV7 専用オプションラインナップ

インバーク周辺機器

VSminkJ7

VSminkV7

Varispeedシリ・ズバト

専用オプション一覧

目的	名称	形式
通信制御	メモバス	***
遠隔操作		***
録画取付		

戻る

【図38】

ご注文書

インバークショップ

ご注文書は下記のとおりです。決済方法とお届け先ご住所をご選択（お支払い）いただいた後、「注文確認」シリットでご注文の履歴を確認できます。

物品名称	形式	数量	単価	小計（税別）
1 VSminkJ72000 録3機	CTC-JFA2370	1	115,000円	115,000円
2 VSminkV7430N 録3機	CTC-V7M41P50	1	105,000円	232,000円
小計				347,000円
消費税				18,360円
総合計				365,360円

※決済方法は選択（どちらかご選択ください）

○銀行振込 ○代金引換

※銀行振込の場合、入金確認後納品となります。納品手帳はお電話でご連絡となります。
※代金引換の場合、1週間以内の引き出し（納品手帳）が必要となります。

お届け先ご住所選択 ○お届け先確定（下記欄にご入力ください）

お届け先確定の場合、ご入力ください（※は入力必須です）。

・郵便番号：〒 - (市角)

・郵便所名： 番 番 番 番 番

・お届け先ご住所

・ご住所フリガナ

【図20】

検索 ☒

ホーム インバークショップ 会員の方へ

リイドガイダンス 会員登録・変更 お問合せ ショップガイダンス 新着情報

VarispeedV7 アクササリ・ラインナップ

インバーク周辺機器

VSminkJ7

VSminkV7

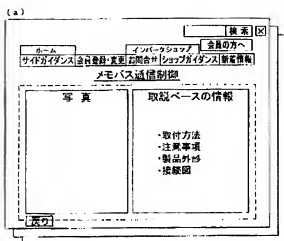
Varispeedシリ・ズバト

専用アクササリ一覧

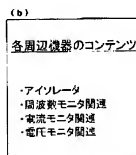
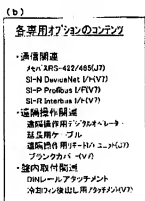
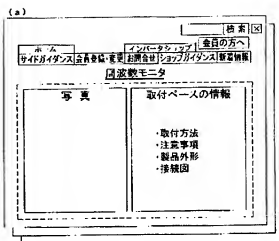
目的	名称	形式
画面モニタ	画面モニタ	***
アイソレータ		***

戻る

【図21】

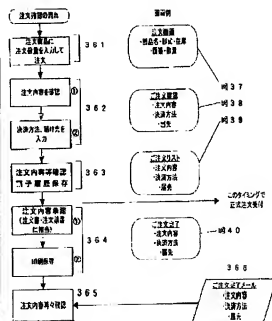
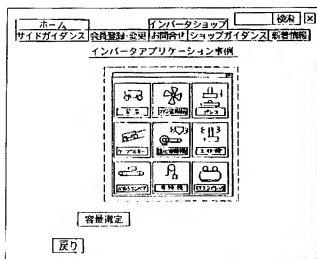


【図22】



【図36】

【図23】



【図24】

ホーム インバータショップ 検索

サイトガイドライン 会員登録・変更 お問合わせ ショップガイドライン 新着情報

インバータFAQ

お使いまたはご使用を考慮されているインバータをお選びください

J7 V7

	Q	A

選択の方法

- 機能
- 仕様
- 取付・配線
- 周辺機器
- その他

戻る

【図25】

ホーム インバータショップ 検索

サイトガイドライン 会員登録・変更 お問合わせ ショップガイドライン 新着情報

アプリケーション事例: 昇降機

↑

↓

戻る

【図26】

ホーム インバータショップ 検索

リイドガイドス 会員登録・変更 お問い合わせ ショップガイドス 新着情報

インバータ容量選定ツール

容量選定ツールの紹介および
ツールのダウンロードリーフ

戻る

【図39】

ご注文リスト

インバータショップ

ご注文内容・数量方法・お届け先住所をご確認ください。「確定する」ボタンをクリックしてください。

ご注文日: 平成13年1月30日

ご注文主氏名: 株式会社 メカトロドットコム
住所: 山形 太田

ご注文内容:

商品名称	形式	数量	単価	小計(税別)
1 V60017200V	C100-71A23P70	1	115,000円	115,000円
2 V60017400V	C100-71A41P50	1	105,000円	212,000円
小計				277,000円
消費税				16,250円
合計				243,750円

お支払い先: 〒120-4507 東京都豊島区〇〇1-2-3
お名前: 山形 太郎 様
お振り先氏名: 株式会社 メカトロドットコム
銀行名: 山形 太田
振込番号: 01-1234-5678

決済方法: 銀行振込
注文番号: 12345
ご注文金額: 848,150円
振込振込口座: 本店から7日以内に「振込金額(確定金額)」を下記口座までお振込みください。

口座名: (株) 東洋電機
口座番号: 第一勧業銀行 支店 〇〇支店 (口座番号1234)
口座名: (株) 〇〇電機 (口座番号 456789)

【図27】

ホーム インバータショップ 検索

会員登録・変更 お問い合わせ ショップガイドス 新着情報

オンライン注文画面

【図37】に具体的表示例あり。

OK 戻る 取消

Vsm11J7							
電 圧	容量 Kw	形 式	電 流	価格 (円)	ネット販売	注文数	備 考
3φ. 200 V	0. 1	C1MR-J1A20 P10	有り	36,500	可		
	0. 2	C1MR-J1A20 P20	有り	36,500	可		
	0. 4	C1MR-J1A20 P40	有り	51,500	不可	電特193-045-3458	※価格(税別)
	0. 7. 5	C1MR-J1A20 P70	有り	51,000	可		
	1. 5	C1MR-J1A21 P50	有り	67,000	可		
	2. 2	C1MR-J1A22 P20	有り	77,500	可		
	3. 7	C1MR-J1A23 P10	有り	115,000	可		

The diagram illustrates the system architecture. On the left, a customer terminal (顧客端末) is shown with two components: 1a (注文入力確認) and 1b (注文再確認). These components are connected via the Internet (インターネット) to a server (3 販売側サーバ). The server is divided into two parts: WEサーバ (3a) and DBサーバ (3b). The WEサーバ (3a) receives data from the customer terminal and performs ①注文確認 (1 Order Confirmation) and ②注文実行 (2 Order Execution). The DBサーバ (3b) receives data from the WEサーバ (3a) and performs 注文実行メール送信 (Order Execution Email Transmission).

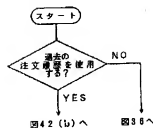
【図37】

= 注文画面 =
V5miniJ7

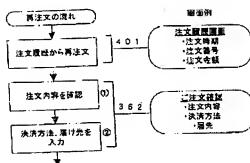
型 圧 巻上 Kw	形 式	在庫	価格 (円)	注文数量
3φ、 200V	D. 1 C1MR-J7AA20 P10	有	36,500	<input type="text"/>
	U. 2 C1MR-J7AA20 P20	有	38,300	<input type="text"/>
	U. 4 C1MR-J7AA20 P40	有	51,500	<input type="text"/>
	O. 75 C1MR-J7AA20 P70	有	51,000	<input type="text"/>
	1. 5 C1MR-J7AA21 P50	有	67,000	<input type="text"/>
3φ、 400V	2. 2 C1MR-J7AA22 P20	有	77,600	<input type="text"/>
	3. 7 C1MR-J7AA23 P70	有	115,000	<input type="text"/>
	D. 2 C1MR-J7AA40 P20	僅少	71,500	<input type="text"/>
	D. 4 C1MR-J7AA40 P40	僅少	74,000	<input type="text"/>
	O. 75 C1MR-J7AA40 P70	僅少	84,500	<input type="text"/>
	O. 75 C1MR-J7AA41 P50	僅少	106,000	<input type="text"/>
	O. 75 C1MR-J7AA42 P20	僅少	121,000	<input type="text"/>
	O. 75 C1MR-J7AA43 P70	僅少	150,000	<input type="text"/>
				<input type="text"/>
				<input type="text"/>

【図42】

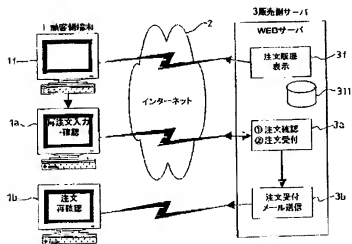
(a) 注文フロー



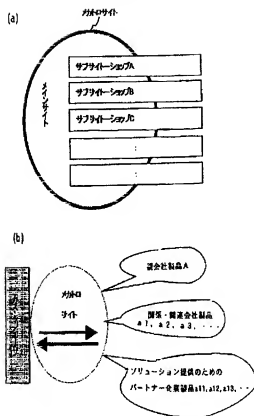
(b)



【図41】



【図46】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G06F 17/60

識別記号

504

F I

G06F 17/60

(参考)

501